

日本平和学会 2009 年度春季研究大会

大会統一テーマ

「綻びぬ平和—Sustainable Peace—」

2009 年 6 月 13 日(土)・14 日(日) 恵泉女学園大学

2009 年度春季研究大会を下記のとおり開催いたします。プログラムは暫定的なものですので、最新情報は本学会ホームページ (<http://www.psj.org/>) をご覧下さい。非会員の方の聴講についても、ホームページをご覧下さい。

日本平和学会第 18 期会長 遠藤 誠治

大会主旨

米国の政権交代に象徴されるように、現在世界では 2001 年以後の荒れた国際関係への反省と変化の期待が高まり、将来の世界に関する再設計を行うことが知的にも政治的にも重要になりつつある。ふり返ってみれば、冷戦後の 1990 年代には、国際社会のさまざまな問題を解決するための積極的な提案や新しい方法の模索が行われた。しかしこれらの方策は、しばしばちぐはぐで十分有効でなかった。そして 2000 年代の世界は、そうして方策への緻密な反省や改善策を積み重ねるのではなく、武力と暴力に基礎をおいた政策によって、問題をより複雑で解決しがたくしてしまった。今なによりも必要なことは、90 年代に行われた国際的な制度作りや未完の政策構想への批判的反省と、それに根ざした現状へ向けた積極的な提言である。世界の不安定性の原因を批判的な精神と歴史的な知識をもって分析し、現在、世界のさまざまな場所で行われている平和のための多様な政策実践を制度化していくこと、21 世紀世界の恒久平和のための第一歩として「綻びぬ平和」を作るための規範・理論・実践を討議する場として、本研究大会を企画・開催する所以である。

6 月 13 日 (土)

午前の部 10:00 ~ 12:30

部会 I 「平和とサステイナビリティ」

— C 棟 302 教室

- | | |
|----|--|
| 報告 | 古沢広祐 (國學院大) 「「グリーン・ニューディール」の可能性と限界—問題設定と枠組みをどう考えるか」 |
| 報告 | 飯田哲也 (NPO 法人環境エネルギー政策研究所) 「サステナブル・エネルギーと国内外の政治」(仮) |
| 報告 | 鬼頭秀一 (東京大) 「抑圧する「エコトピア」と「サステイナビリティ」の再定義」 |
| 討論 | 植田和弘 (京都大) |
| 司会 | 横山正樹 (フェリス女学院大) |

〈開催校企画〉(※10:15~12:30、開始時間にご注意ください)

ラウンドテーブル

「平和学を専門とする大学院カリキュラムの現状と課題」(協力:早稲田奉仕園・庭野平和財団)

— J棟 202 教室

パネリスト Stuart Rees (オーストラリア・シドニー大名譽教授、Centre for Peace and Conflict Studies 元センター長)
Mahendra P Lama (インド・国立シッキム大学長/ Dept. of Peace and Conflict Studies and Management, School of Peace, Conflict and Human Security Studies の創設者)
韓洪九 (韓国・聖公会大学大学院)
上村英明 (恵泉女学園大)

コメンテータ 内海愛子 (早稲田大客員教授/恵泉女学園大名譽教授)
武者小路公秀 (大阪経済法科大)

司会 大橋正明 (恵泉女学園大)

昼食 12:30 ~ 12:50

分科会 12:50 ~ 14:50 (詳細は別紙参照)

総会 15:00 ~ 15:30

— J棟 202 教室

午後の部 15:40 ~ 18:30

部会Ⅱ「米国政権交代後の平和を考える」

— J棟 202 教室

報告 古矢旬 (東京大)
 「ブッシュ外交からオバマ外交へ」

報告 吉川元 (上智大)
 「欧州平和と米国 —綻ぶ国家と強靱な平和の狭間で」

報告 酒井啓子 (東京外国語大)
 「米国の中東政策に対する中東諸国/社会の反応」

討論

司会 高原明生 (東京大)
 初瀬龍平 (京都女子大)

懇親会 18:45 ~

— L棟ラウンジ

6月14日(日)

午前の部 **9:40 ~ 12:10**

部会Ⅲ「平和を担保するーシティズンシップの可能性」

— J棟 202 教室

- 報告 白井嘉一 (国士館大)
 「社会科教育におけるシティズンシップ教育の位置と〈平和問題〉
 ー1930年代のラッグ社会科教育とも関わらせて」
- 報告 岡野八代 (立命館大)
 「フェミニズムが構想する平和ー女は地球を救えるか?再考」
- 報告 中西新太郎 (横浜市大)
 「「生きながらの死」を語る若者文化の〈平和主義〉」
- 討論
司会 宮島喬 (法政大)
 君島東彦 (立命館大)

自由論題部会

— C棟 302 教室

- 報告 清末愛砂 (島根大)
 「9. 11以降のイギリスの対テロ法とイスラーム・フォビアの台頭
 ー宗教差別・レイシズム・市民的自由の観点からー」
- 報告 堀場明子 (上智大アジア研究所共同研究員)
 「インドネシア・アンボン紛争でみられた一般住民の紛争参与と動員構造
 ーマリノ和平協定とその教訓」
- 討論
司会 磯村早苗 (國學院大)
 高原孝生 (明治学院大)

昼食 12:10 ~ 12:30

分科会 12:30 ~ 14:30 (詳細は別紙参照)

午後の部 **14:45 ~ 17:15**

部会Ⅳ「平和運動再考ー運動間の連帯は可能か」

— J棟 202 教室

- 報告 片野淳彦 (札幌大)
 「アメリカのキリスト教平和運動における平和と正義の交錯」
- 報告 石井一也 (香川大)
 「ガンディー死後の『ガンディー主義』ー独立インドにおける『民主主義』の不可欠の構成要素としてー」
- 報告 毛利嘉孝 (東京藝術大)
 「グローバリゼーションの時代のD i Y的政治=文化運動」
- 討論
討論
司会 千葉眞 (国際基督教大)
 浜邦彦 (早稲田大)
 北沢洋子 (アジア太平洋資料センター)

ポスターセッション「平和研究のフロンティア」

6月13日(土) 10:00 ~ 14:50

— C棟 2F

6月14日(日) 10:00 ~ 14:30

— C棟 2F

- 発表 五野井郁夫 (日本学術振興会特別研究員)
「公共性と芸術の臨界 —ヒロシマの表象をめぐって」
- 発表 鶴見直人 (神戸大学大学院国際協力研究科・博士課程)
「〈平和の「中間領域」〉再訪 —「平和構築」の振幅を手掛かりに」
- 発表 中野佳裕 (国際基督教大社会科学研究所研究員)
「ポスト開発論をめぐる知的潮流：比較思想史・社会科学方法論史の観点から」
- 発表 丸浜江里子 (明治大大学院)
「杉並における水爆禁止署名運動の成立」
- 発表 吉井美知子 (三重大)
「ベトナムの反戦歌 —チンコンソンの作品とその普遍性—」

- ※ 立会い時間 五野井=13日; 12:30~14:50 14日; 12:10~14:30
鶴見= 13日; 12:30~14:30 14日; 12:30~14:30
中野= 13日; 10:00~12:00 14日; 10:00~12:00
丸浜= 13日; 10:00~12:00 14日; 10:00~12:00
吉井= 14日; 10:00~14:30

ドキュメンタリー映画上映

6月13日(土) 12:50 ~ 14:50

— B棟 202教室

6月14日(日) 12:30 ~ 14:30

— J棟 202教室

『タクシー・トゥ・ザ・ダークサイド』(2008/DVD-R/カラー/106分) * *

- 休憩・昼食の場所は大学内の食堂・ラウンジをご用意しています(6月13日のみ食堂で軽食を提供できるよう調整中です)。